

# 株主のみなさまへ



代表取締役社長 いしだ まさあき  
**石田 雅昭**

株主のみなさまには平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

2018年度 第2四半期累計期間(2018年4月1日～9月30日)の日本経済は、米中貿易摩擦や大規模な自然災害の影響などにより先行き不透明な状況が継続しているものの、企業の好調な業績や人手不足への対応などを背景に設備投資は好調に推移いたしました。こうした中、当社は自動車やIoT関連市場を

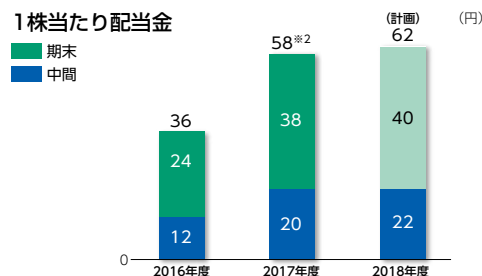
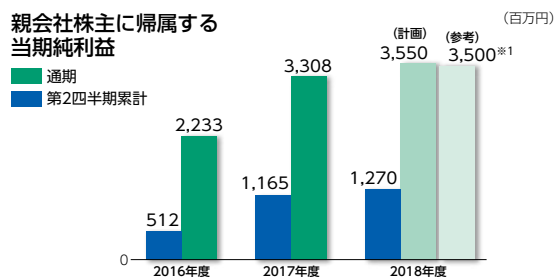
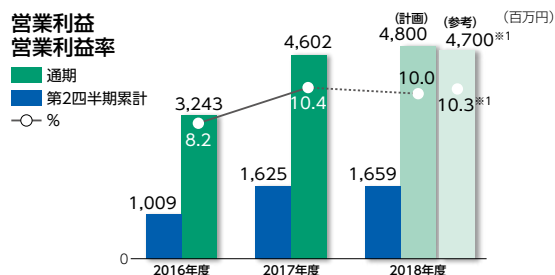
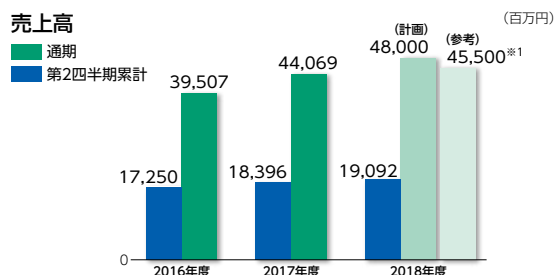
ターゲットとした環境試験器のカスタマイズ力の強化やエネルギーデバイス製品の開発に取り組むとともに、国内および中国・韓国・欧州・ASEANなどの海外市場での売上拡大に取り組んでまいりました。主力の環境試験器につきましては、国内市場では、汎用性の高い標準製品、カスタム製品ともに好調に推移いたしました。海外市場では、米国・韓国の売上高は前年同期比で減少したものの、中国・東南アジア・欧州は増加いたしました。

こうした結果、連結業績といたしましては、前年同期比で売上高は3.8%増加、営業利益は2.1%増加、親会社株主に帰属する四半期純利益は9.0%の増加となりました。中間配当金につきましては、1株当たり22円とさせていただきます。

2018年度におきましては、海外連結子会社の決算期統一のため、連結対象期間を国内連結子会社は従来通り12カ月間(2018年4月～2019年3月)、海外連結子会社は15カ月間(2018年1月～2019年3月)とした変則決算となります。通期の連結業績につきましては、売上高は48,000百万円、営業利益は4,800百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は3,550百万円を計画しております。

なお、従来通り海外連結子会社の決算が12カ月(2018年1月～2018年12月)であった場合の計画は、売上高は45,500百万円、営業利益は4,700百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は3,500百万円です。期末配当金につきましては、1株当たり40円、年間で62円を予定しております。

株主のみなさまにおかれましては、一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。



\*1 海外連結子会社の決算期が12カ月間であった場合の業績予想  
\*2 記念配当 中間1円、期末1円を含む